## 重症疾患を見逃さない

# 小児。救急・当直診療



序		山田至康
追悼	の序	市川光太郎

#### はじめに

### 第 <sup>1</sup> 章 重症疾患が潜む **症状・症候**

1	ショ	ック ―――	緊急度★★★	頻	度★☆☆	金沢貴保,	植田育也	2	24
2	昏睡	€・意識障害 ─	緊急度★★★	頻	度★☆☆		長村敏生	1	29
3	チア	7ノーゼ ――	緊急度★★★	頻	度★☆☆		渡部誠一	;	36
4	発	熱	緊急度★★★	頻	度★★★		神薗淳司	4	43
5	不機	<b>嫌</b> ————	緊急度★☆☆	頻	度★☆☆		渡部誠一	4	50
6	脱	水 ———	緊急度★★☆	頻	度★★★		金子一成	4	54
7	けい	<b>^れん</b> ———	緊急度★★★	頻	度★★☆		長村敏生	(	60
8	頭	痛	緊急度★★☆	頻	度★★★		小松充孝	(	65
9	呼吸	b障害 ————	緊急度★★★	頻	度★★★		神薗淳司	ž	71
10	下血	1・吐血 ——	緊急度★★★	頻	度★★★		黒田達夫	ž	74
O	腹	痛	緊急度★★☆	頻	度★★★		内田正志	å	80
12	嘔	吐	緊急度★★★	頻	度★★★		人見知洋	ě	85
13	下	痢	緊急度★★☆	頻	度★★★		人見知洋	å	89
14	陰囊	痛 ———	緊急度★★★	頻	度★★☆		黒田達夫	9	93
15	発	疹	緊急度★☆☆	頻	度★★★		小松充孝	9	98

## 第2章 救命に必須の手技・技術

1 心肺蘇生・救命救急 (PALS, 気管挿管など) - 緊急度★★★ (頻 度★☆☆ 金沢貴保, 植	田育也	106
2 輸液・輸血 ──── 緊急度★★★ 頻 度★★☆ ⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯	車祟	111
3 鎮静,鎮痛の方法─ <sub>緊急度★★★</sub> 頻 度★★★ ························· 篠原真史, 六	車崇	118
4 誤飲と中毒 ──── 緊急度★★★ 頻 度★★☆	川理郎	123
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	业上的	100

## 第3章 見逃すと危険な疾患・外傷

1	脳症,脳炎 ———	緊急度★★★	度★☆☆			<ul><li>佐藤厚</li></ul>	!夫	136
2	化膿性髄膜炎 ——	緊急度★★★ 頻	度★☆☆			·船曳哲	典	143
3	敗血症・重症敗血症	・敗血症性シ	ノヨック	7 - 緊急度★★★ 頻	度★★☆	·志馬伸	朗	147
4	インフルエンザ(新	型を含む) - 緊急	度★★★	頻 度★★★	山本しほ,	浜田洋	通	153
5	急性心筋炎 ———	緊急度★★★	度★☆☆			·岩佐充	==	157
6	致死的不整脈 ——	緊急度★★★	度★☆☆			·岩佐充	==	161
7	喉頭蓋炎 ———	緊急度★★★ 頻	度★☆☆			· 小松充	孝	166
8	クループ症候群 ―	緊急度★☆☆(急性	喉頭蓋炎,	細菌性気管炎は★★★)	頻 度★★★	·黒木春	郎	172
9	細気管支炎 ———	緊急度★★☆ 頻	度★★★			· 浜田洋	通	177
10	気管支喘息 ———	緊急度★★☆ 頻	度★★★			· 松原知	代	180
11	腸重積症 ———	緊急度★★★ 頻	度★★☆		吉田真理子,	岩中	督	188
12	虫垂炎 ————	緊急度★★☆ 頻	度★★★		大谷祐之,	岩中	督	196
13	感染性胃腸炎 ——	緊急度★☆☆ 頻	度★★★			· 伊東宏	明	200
14	急性腎不全 ———	緊急度★★★ 頻	度★☆☆			· 大友義	之	205
15	尿路感染症 ———	緊急度★★☆ 頻	度★★★			杂谷朋之	介	209
16	糖尿病性ケトアシド	ーシスー緊急	度★★★	頻 度★☆☆		· 竹島泰	弘	215
17	熱 傷 ———	緊急度★★☆ 頻	度★★☆			·大出靖	将	221
18	頭部外傷 ———	緊急度★★★ 頻	度★★★			·荒木	尚	227
19	胸部外傷 ————	緊急度★★★ 頻	度★☆☆			·浮山越	史	235

20 腹部	<b>                                      </b>	山越史 <b>239</b>
21 急性	<b>上中耳炎 ────</b> 緊急度★★☆ 頻 度★★★ ·················· 工)	藤典代 <b>243</b>
22 急性	<b>上鼻副鼻腔炎合併症</b> – (緊急度★★★) (頻 度★☆☆) ···································	藤典代 <b>247</b>
第4章	アートの実践: 心理的・社会的ケアの重要性	
11 子と	<b>ざもの虐待</b> 宮	本信也 252
2 小児	B救急医療におけるグリーフケア ····································	田至康 <b>260</b>
第5章	Case study:重症疾患の見逃しやトラブルを防ぐポイント	市川光太郎
Case 1	主訴と検査結果に惑わされた症例	270
Case2	過去の受診歴から思い込みがあった例	274
Case3	母親の訴えを傾聴せず,自己判断した症例	277
Case4	診察,および検査が不十分だった症例	281
Case5	<b>患児の訴えを正確に理解できなかった症例</b>	284
Case6	<b>的を絞った病歴聴取が行えていなかった症例</b>	289
Case 7	全身の観察が足りなかった症例	292
Case8	前医の診断を鵜呑みにした症例	295
索引		297

#### 緊急度・頻度が一目でわかる -

#### 緊急度 ★★★ 頻 度 ★☆☆

第1~3章の各項目では、緊 ★☆☆ …… 低い 急度と頻度をそれぞれ3段階 ★★☆ …… 中程度 に分け表記しています. **★★★** …… 高い